

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院感染対策に関する基本的な考え方 ○ 病院感染対策の組織 ○ 職員教育・研修に関する基本方針 ○ 感染症発生状況の報告に関する基本方針 ○ 病院感染発生時の対応に関する基本方針 ○ 患者への情報提供と説明 ○ 病院における院内感染対策の推進 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 15 回
<p>・ 活動の主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院感染の発生状況, 抗菌薬の使用状況について ○ 病院感染対策の検討および推進に関すること ○ 病院感染対策に係る職員研修の企画に関すること ○ 病院感染対策に係る啓蒙及び広報に関すること ○ 病院感染発生時の医療現場との連絡調整に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・ 研修の主な内容:</p> <p>1) 生体支援センターセミナー(全職種対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「標準予防策, 経路別予防策について」(全職種が参加できるよう5回実施) ○ 「インフルエンザ・ノロウイルス」(生体支援センター長 村上啓雄) ○ 「抗菌薬の適正使用」(愛知医科大学病院 感染制御部 三嶋廣繁) ○ 「手術部位感染対策について」(生体支援センター 村上 啓雄) <p>2) 外部委託業者職員への感染対策研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染対策の基礎知識(生体支援センター感染対策専門師長 深尾亜由美) <p>3) 院内研修(全新入職員対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院感染対策の基本(生体支援センター 村上啓雄, 深尾亜由美) <p>4) 院内研修(全看護師対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 尿道留置カテーテル関連尿路感染の感染対策(生体支援センター 深尾亜由美) ○ 人工呼吸器関連肺炎の感染対策(生体支援センター 深尾亜由美) ○ 中心静脈カテーテル関連血流感染の感染対策(生体支援センター 深尾亜由美) <p>5) 看護助手研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病院感染対策の基本(生体支援センター 深尾亜由美) 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有)・無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症管理システムによるサーベイランス ○ 各種会議(医局長等会議, 科長会, 院内感染対策専門委員会等)での報告 <p>・ その他の改善のための方策の主な内容 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感染防止推進月間の実施(院内ラウンド等) ○ ICU/HCUにおけるペナルティ制の導入 ○ 抗MRSA薬の届出および許可制の導入 ○ 手指衛生遵守に関する取り組み(速乾性擦式消毒剤の使用量のモニタリング) 	

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容： ○ 県立多治見病院の実例と当院の抗がん剤の誤処方例を挙げて、抗がん剤のレジメン登録の重要性について、電子カルテの画面を用いて説明を行った。</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： ○ 年2回程度、チェックリストを用いて実施状況の確認を行っている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○ 病棟でセファメジンキットとセフメタゾンキットの誤投与事例があったので、両剤を使用している病棟では、セファメジンキットの容器に目立つシールの貼付を行うことにした。 ○ 病棟にて、ミスロールアンプルとサリペックスアンプルの調製間違いがあった。両剤の形状が類似しているため、薬事委員会でミスロールアンプル製剤を採用中止とし、ミスロールボトル製剤を採用とした。 ○ 抗がん剤のレジメンを文献等を参考にして審査を行い、電子カルテに審査したレジメンを登録した。その結果、抗がん剤の誤入力によるミスが少なくなり、各抗がん剤に対する支持療法をレジメンに登録することで、処方への入力忘れが無くなった。</p>	

(様式第13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容: ○医療機器の安全基礎知識について ○除細動器, AEDの安全管理について ○輸液ポンプ, シリンジポンプの取り扱い方法について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容: ○人工呼吸器, 人工心肺装置, 除細動装置, 血液浄化装置は使用毎の保守点検を医療機器センターで実施 ○血液浄化部の装置は2年に1度業者による点検実施。 ○放射線装置は期限ごとに業者と保守点検の契約を結び実施。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : ○人工呼吸器について…医療機器センター技士による人工呼吸器管理中患者のラウンドを週2回実施。 加温加湿器の使用別写真入り説明書と使用時点検と使用中点検のチェックリストを作成して、各人工呼吸器に取り付けた。 ○血糖測定用微量採血針…「メディセーフファイナタッチ」に固定器具を取り付け、複数回穿刺できないことと	